

重源の郷体験交流公園施設リニューアル整備方針



令和5年10月

山口市

目 次

1. 重源の郷体験交流公園リニューアル整備方針策定の経緯	P. 1～P. 2
(1) 施設の沿革とリニューアル整備方針策定の経緯	P. 1
(2) 施設の現状と課題	P. 2
(3) 施設の方向性	P. 2
2. 重源の郷体験交流公園リニューアル整備方針	P. 3～P. 5
(1) 施設のミッション	P. 3
(2) リニューアルの重点ポイント（整備の方向性）	P. 3
(3) 施設のコンセプト	P. 4
(4) 施設の重点ターゲット	P. 4
3. 重源の郷体験交流公園リニューアル整備内容	P. 6～P. 23
(1) 整備内容	P. 6
①【癒しの空間】心地よい空間・時間の提供	P. 6
②【贅沢な空間】本物・上質の贅沢感の提供	P. 7
③【特別な空間】いまだけ・ここだけ・あなただけの特別感の提供	P. 9
④【食の空間】徳地ならではの付加価値（ストーリー）を持つ食の提供	P. 10
(2) 個別施設整備内容	P. 12
(3) 施設サイン整備内容	P. 17
4. 重源の郷体験交流公園リニューアル整備スケジュール	P. 24
令和5～6年度	P. 24

1. 重源の郷体験交流公園リニューアル整備方針策定の経緯

(1) 施設の沿革とリニューアル整備方針策定の経緯

山口市徳地地域は、山口市北部に位置する、緑深き山々に抱かれる自然豊かな中山間地域であり、この地で育まれた上質な巨木は、いまから約 800 年前の平安時代末期（1180 年）に焼失した奈良東大寺の再建に当たり、後白河法皇から「大勸進」職に任命された重源上人によって見出され、東大寺大仏殿の再建に使われた。

その他、興福寺の再建や伊勢神宮の年式遷宮などの際にも建築材の調達地に挙げられるなど、良質木材の産地「徳地の森」として、徳地の名を全国に知らしめた。

重源上人は、徳地の森から巨木材を効率的に搬出するために独自の仕組みを考案したほか、労働者たちの体調管理のための施設を開設するなど、杣（現在の山林業）経営の効率化や作業員（従業員）の福利厚生などに尽力した。また、地域の人々との交流を重ね、地域の人々から親しみを持って「重源さん」と呼ばれるなど、徳地の人々から愛され、今なお、その功績は語り継がれ、徳地地域のふるさとにぎわい計画（地域経済活性化計画）においても、「重源の里とくちプロジェクト」として、位置づけているところである。

「重源の郷体験交流公園」（以下「重源の郷」）は、この重源上人の功績と、全国から注目されてきた豊かな森林資源を有する徳地の魅力・価値を今に伝えることを目的に、本市（旧徳地町）が平成 10 年に設置した施設である。

開園当初は、年間 9 万人を超える多くの人々に訪れていただき、春の桜や秋の紅葉シーズンには、1 日に 1,000 人を超える皆様に来場いただくなど、重源上人と徳地地域の魅力に触れていただいていたが、開園後 20 年以上が経過し、施設自体の老朽化が進み、年間 1.6 万人と来場者が減少している状況である。また、徳地地域全体の観光客数も減少を続け、令和 3 年時点では約 3.7 万人となっている。

こうした状況に鑑み、老朽化が進む誘客施設の安全性の確保とともに、改めて、重源の郷と徳地地域の魅力・価値を再整理、再発信し、徳地地域全体へのさらなる誘客、経済波及効果を創出するため、徳地地域全体で取り組む体制づくりも併せて進め、ハードとソフトの両面から、重源の郷のリニューアル整備に着手し、徳地地域の活性化に取り組むこととしている。



(2) 施設の現状と課題

平成10年の開園当初、7棟の茅葺古民家、周辺景観と調和のとれた花木、水生植物池、専門員を配置したギャラリースペース、民間食施設との連携による充実した和食空間の提供等、究極の田舎体験のコンセプトを体現する施設機能を有していた。

開園から20年以上が経過した現在、入郷者数は、最大約9万人から1.6万人と8割の減少、施設設備についても、茅葺古民家の老朽化、花木の病気の蔓延、水生植物池の消失、鉄製遊具の老朽化の進行による魅力の低減など、交流拠点施設としての機能が十分に発揮できていない状況となっている。また、地域住民からの関心が低下している状況となっている。

(3) 施設の方向性

こうした状況に鑑み、徳地地域の商工事業者を中心に、令和2年11月から重源の郷及び徳地地域活性化プロジェクトチームを立ち上げ、約1年の期間をかけて、重源の郷の重要性と徳地地域の活性化の可能性について、協議検討を行い、施設のリニューアルと徳地地域全体の活性化への連携体制づくりの必要性の共通認識を図った。

こうした協議検討をもとに、老朽化が進む施設の安全性の確保とともに、改めて、重源の郷と徳地地域の魅力・価値を再整理、再発信し、徳地地域全体へのさらなる誘客、経済波及効果を創出するため、徳地地域全体で取り組む体制づくりも併せて進め、ハードとソフトの両面から、重源の郷のリニューアル整備に着手し、徳地地域の活性化に取り組む。

2. 重源の郷体験交流公園リニューアル整備方針

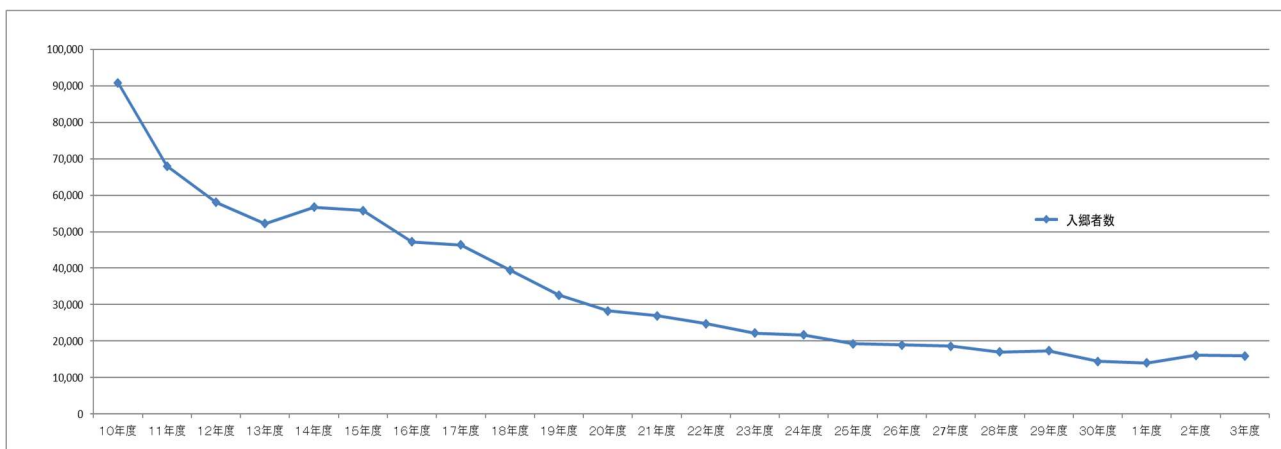
(1) 施設のミッション

徳地地域の活性化を担う観光施設

徳地地域全体への人流・交流・経済波及効果を創出する交流拠点施設としての再生を目指す。

【参考】重源の郷体験交流公園入郷者数の推移

平成10年度～令和3年度入郷者数推移																								
(単位:人,%)																								
年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度
入郷者数	90,821	67,936	58,080	52,219	56,685	55,760	47,198	46,399	39,449	32,654	28,311	26,991	24,780	22,169	21,706	19,256	18,925	18,583	17,066	17,380	14,427	14,051	16,072	15,970
前年度比	-	74.6	85.5	89.9	108.6	98.4	84.6	98.3	85.0	82.8	86.7	95.3	91.8	89.5	97.9	88.7	98.3	98.2	91.8	101.8	83.0	97.4	114.4	99.4



(2) リニューアルの重点ポイント（整備の方向性）

自然豊かな景観、究極の田舎、昭和の原風景の佇まいに加え、
四季折々の花(花木)があふれる心地よい空間の整備を行う

● 4つの価値の提供

- ①【癒しの空間】 心地よい空間・時間の提供
- ②【贅沢な空間】 本物・上質の贅沢感の提供
- ③【特別な空間】 いまだけ・ここだけ・あなただけの特別感の提供
- ④【食の空間】 徳地ならではの付加価値（ストーリー）を持つ食の提供

● 更なる徳地地域全体への好影響の創出（地域活性化への取組）

徳地地域内の各種施設機能・役割を意識しながら、それぞれの施設の魅力・価値が引き立ち、他施設との相乗効果の発揮につながる重源の郷の機能の整理、強化を図る。

(3) 施設のコンセプト

「花づくし・旨いものづくし・心づくし」

徳地地域の強みとして表出しており、住民も認知している「花（自然）」と「食」と「人（おもてなし）」という観光の三大要素に特化した魅力の提供を促進する。

地域内においても、花、食の浸透を図り、商品・サービスづくりにおいて、地域としてのマネジメントに取り組む。（地域全体での徳地クオリティの創造）。



(4) 施設の重点ターゲット

あらゆる市民や多世代が楽しめるリニューアルの方向性を基本としつつ、情報発信等における重点ターゲットを設定。

アクティブシニア層 ※

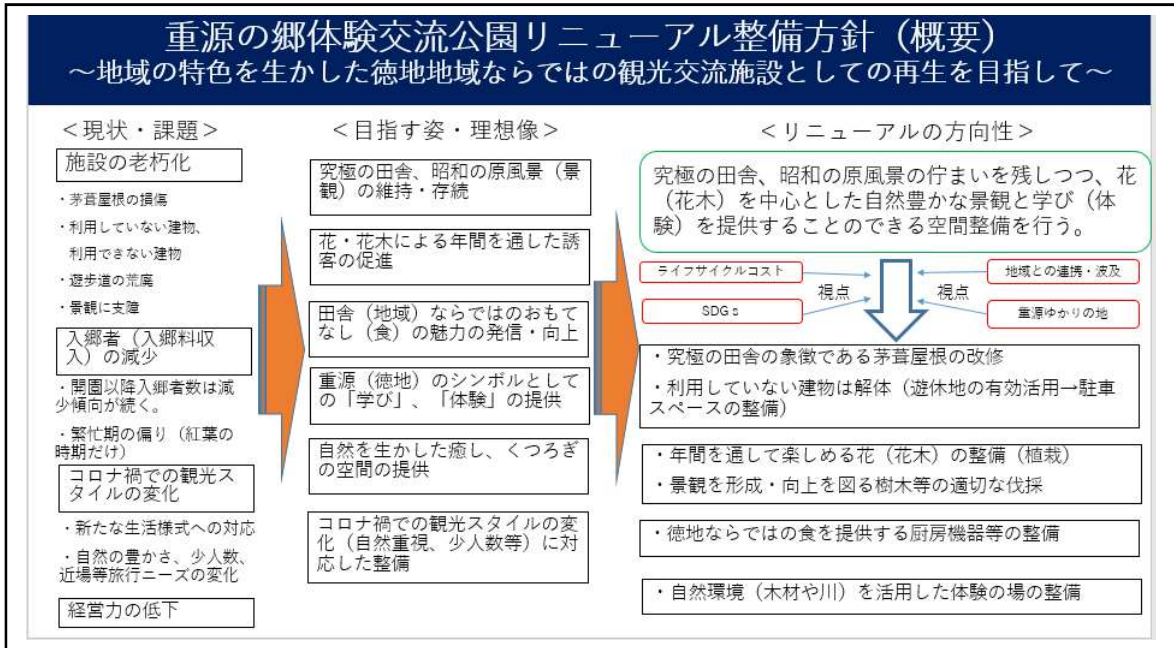
※特に 50 代～70 代女性は、現状も多くの入郷がある層。

子育ても一段落し、自分の時間があり、価格より価値を重視する世代を想定。

(参考) 協議検討段階で出されたイメージするペルソナ

ランチに 3,000 円使うことに躊躇は無く、友人 3～4 人と定期的に外出（旅、レジャー、食事）を楽しんでいる。山歩きや自然散策を好む（環境に対する意識も高い）。周囲からはセンスの良い人として一目置かれ、スマホを自在に操り、情報感度も高く、新しいお店やレジャー施設にまずは行ってみるタイプ（SNS への投稿もしている）。知的好奇心も強く、旅やレジャーに「学び」の要素を求める。

【参考】リニューアル整備の考え方



3. 重源の郷体験交流公園リニューアル整備内容

(1) 整備内容

①【癒しの空間】心地よい空間・時間の提供

(ア) 花づくし（花木整備）

現状 病気による花木数の減少、周辺樹木の繁茂など、景観の魅力が低減している。

整備内容

山口市造園協会からの意見も参考とし、四季を通じた郷の雰囲気づくりに資する既存花木の活用、植栽、適正な伐採を通じて景観の向上を図る。

(イ) 水生植物池の再生・魅力強化

現状 開園当初にあった水生植物池の花菖蒲、散策用八つ橋は、現在は消失している。

整備内容

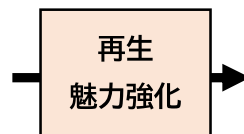
見頃には多くの入郷者が訪れる観光コンテンツであったことから、山口市造園協会からの意見も参考とし、花菖蒲の再整備とあわせ、散策用八つ橋を設置する方向で検討を進める。

(ウ) 親水広場

現状 園内に川は流れているが、歩道等からの高低差があり利用は難しい。

整備内容

園内に流れる清流に触れ、癒しを提供する水辺での憩いの場所を設置する方向で検討を進める。



(エ) 駐車場の拡張

現状 120台の駐車スペースを有しているが、紅葉時期には1日1,000人の来郷者があることから、大渋滞が発生している。

整備内容

行楽シーズンは渋滞するというイメージを払しょくする必要があることから、150~160台分を確保する方向で検討を進める。

【参考】 駐車場必要台数の算定式

$$\begin{aligned} \text{(駐車場必要台数)} &= (\text{入郷者数/日}) \times (\text{自動車分担率}) \div (\text{同乗者数/台}) \div (\text{来場者回転数}) \\ &= 1,000 \text{ 人/日} \times 1.0 \div 2.5 \text{ 人/台} \div 2.5 = 160 \text{ 台} \end{aligned}$$

②【贅沢な空間】本物・上質の贅沢感の提供

県内唯一の価値となる茅葺古民家の連棟と花木が一体となった自然空間を整備し、景観の向上を図る。なお、整備の重点化を図るため、茅葺古民家全7棟中、3棟は茅葺の維持・改修を行い、現在使用中の1棟及び未使用の3棟、その他、茅葺でない未使用古民家1棟は解体する方向で検討を進める。



(ア) 茅葺古民家の維持・改修（3棟）

茅葺屋根の葺き替え、体験工房内装等改修及び燻蒸設備の設置等

- ・とくち浪漫（そば打ち体験）
- ・白波（紙漉き体験）
- ・ふれあい工房（※匠（木工体験）に変更） ※藍染・機織体験は廃止。

(イ) 茅葺古民家の解体（4棟）

いなか屋敷

<p>民具の展示等をしていましたが、老朽化により休止中</p>	<p>入口付近に立地しているため、解体し、駐車場として活用</p>


重源茶屋

<p>甘味処として飲食の提供をしていましたが、老朽化により休止中</p>	<p>甘味は庄屋（レストラン）で提供可能であるため、解体し、花木を植栽</p>

匠

<p>体験工房として木工体験を提供中</p>	<p>高台に立地しており、茅葺屋根古民家の連棟を見渡せる景観形成のため、解体し、展望設備を設置</p>

雅

	
<p>紙細工体験等を提供していたが、老朽化により休止中</p>	<p>展望設備からの景観向上のため、解体し、花木を植栽</p>

【参考】本市施設における茅葺屋根の改修状況

施設名（実施年） 【所在地区】	施設画像	葺替経費 （千円）	葺替内容	葺替時期
雲谷庵 （令和元年） 【宮野】		18,000	2面	平成23年 全面差茅 平成12年 全面葺替
岸見の石風呂 （令和2年～3年） ※月1回燻し有 【徳地】		22,000	4面	平成17年 全面葺替 平成元年 全面葺替 ※H17～R2の間に小修理、 差茅を複数回実施。
嘉村磯多生家 （令和4年） 【仁保】		10,465	2面	平成28年 後ろひら差茅 左小びら葺替 約2,800千円 ※平成22年度オープン

③【特別な空間】 いまだけ・ここだけ・あなただけの特別感の提供

(ア) 徳地ならではの食と癒しのリフレッシュ体験

「食」：米、やまのいも、自然薯、こんにゃく、しいたけ など

「体験」：アマゴ釣り、ガイド付散策、テントサウナ など

(イ) 茅葺古民家体験メニュー

「とくち浪漫」：そば打ち体験（伝統食）

「白波」：紙漉き体験（伝統産業である徳地和紙）

「匠」：木工体験（地場産業である林業）

茅葺屋根の燻し体験（茅葺屋根の維持管理のための燻蒸設備の設置）

※ふれあい工房：藍染・機織体験は徳地の伝統産業ではないことなども踏まえ、撤去する方向。

【参考1】各体験工房売上（年間）

（単位：円）

年度	そば打ち	紙漉き	木工	藍染・機織	イベント
R3	1,248,206	596,932	1,092,582	490,243	2,096,620
R2	1,272,711	542,423	867,759	486,741	1,810,994
R1	1,646,255	663,963	1,065,745	641,237	1,956,416
H30	1,828,889	620,350	1,161,546	730,112	1,777,640
H29	1,343,212	804,923	1,249,971	791,127	2,374,710
H28	942,770	986,600	1,411,800	790,313	3,253,550

【参考2】各体験工房メニュー

- ・そば打ち体験（所要時間約40分）：1,100円/人
- ・紙漉き体験（所要時間約1時間）：550円/人
- ・木工体験（所要時間約1時間）：竹とんぼ・水鉄砲550円/人、ゴム鉄砲770円/人
- ・藍染体験（所要時間約1時間）：ハンカチ880円/人、手ぬぐい990円/人
- ・機織体験（所要時間約1時間）：模様織り550円/人、平織り990円/人

(ウ) 花木や茅葺屋根を多角的な視点から臨める展望スペースの設置

- ・施設内の高台（現「匠」を解体跡地）に造成を検討
- ・訪れたくなる愛称の設定

例）重源の功績を称えた

「未来が拓ける展望の丘」等



④【食の空間】徳地ならではの付加価値（ストーリー）を持つ食の提供

徳地産食材を活用した食（ストーリー性のある、四季折々の超元（重源）気になるメニュー）の開発・提供、生産者との連携など、相乗効果を生む連携を通じて、観光消費の1次産業～3次産業への循環（徳地地域内循環）を図る。

（ア）飲食空間の再整備

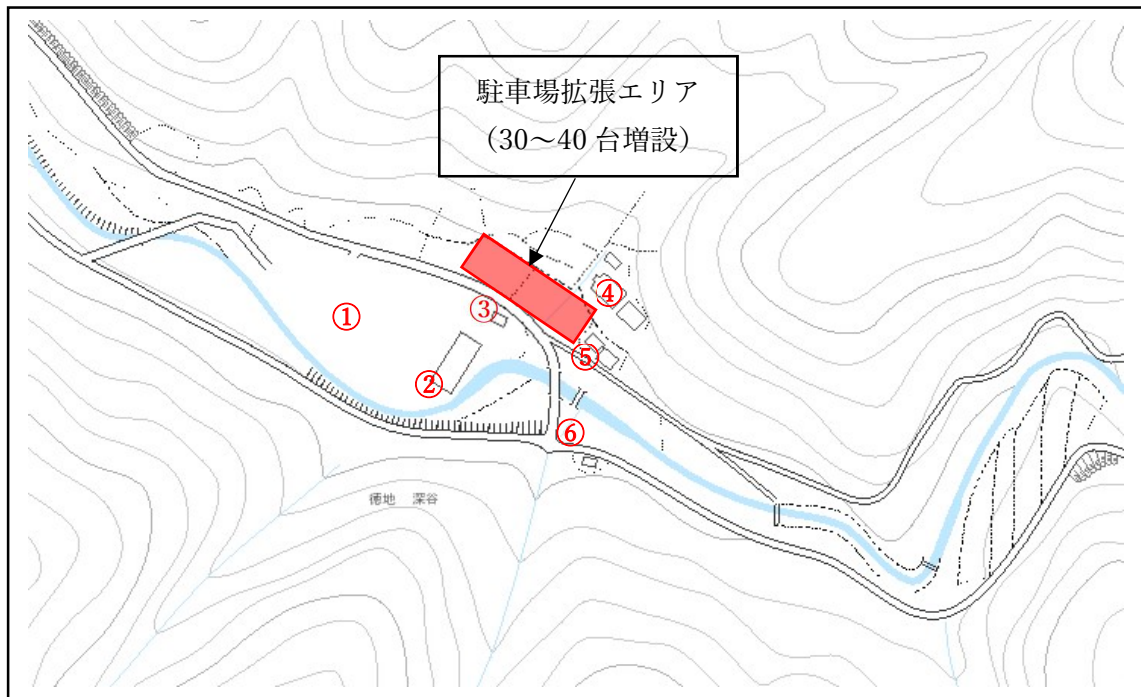
 <p>花ひとえ（食事処）</p>	<p>現状：囲炉裏や庭園など和の趣のあるコンテンツを活用できていない。地元産食材を活用した徳地ならではのメニューが少ない。ギャラリースペース機能が、観光消費拡大につながっていない。</p> <p>整備内容：入郷者の満足度を高め、滞在時間や観光消費の拡大を図る必要があることから、囲炉裏や庭園スペースを生かした和の趣を備え、くつろぎの時間を過ごせるようなレストランへの改修を検討する。</p> <p>地元産食材を活用した徳地ならではのメニューの提供とあわせ、アユの串刺し等の囲炉裏での提供など、食体験を見せるしかけにより消費拡大を図る。</p> <p>ギャラリースペースを廃止し、待ち時間等に消費拡大につながる特産品・お土産販売スペースを設置する。</p>
 <p>重源茶屋（甘味処）⇒解体 ※花ひとえ等への機能統合</p>	<p>現状：甘味処として飲食の提供をしていたが老朽化により休止中であり、メニューは花ひとえで提供している。</p> <p>整備内容：花ひとえでの甘味の提供とあわせ、釣り堀横の軽飲食提供（テイクアウト）施設を改修し、機能を統合する。</p> <p>地元産食材を生かしたストーリー性のある、四季折々のスイーツ・ドリンクメニューの開発・提供を行う。</p>
 <p>釣り堀</p>	<p>現状：釣り堀で釣った魚を、併設の建屋で焼いて食べることができる人気のコンテンツとなっている。イベント開催時には軽飲食（テイクアウト）の提供も行っている。</p> <p>整備内容：釣り堀は維持・存続する。</p> <p>併設の建屋は老朽化への対応や利便性の向上を図るため、改修（建替え）を行う。</p> <p>釣った魚や、気軽に楽しめる軽飲食（テイクアウト）を提供し、満足度向上、消費拡大を図る。</p>

(イ) 園内民間飲食提供施設との連携

園内にある民間施設「美濃吉」は、山奥の茅葺古民家で、地元産の野菜や、鮎、ジビエなど季節の食材を活用した贅沢な料理が楽しめるお店であることから、重源の郷で提供する飲食とは差別化を図り、連携・協力した取組を検討する。



(2) 個別施設整備内容



① 入郷者駐車場⇒維持



② 歓迎館⇒維持



③ ミニ SL⇒撤去



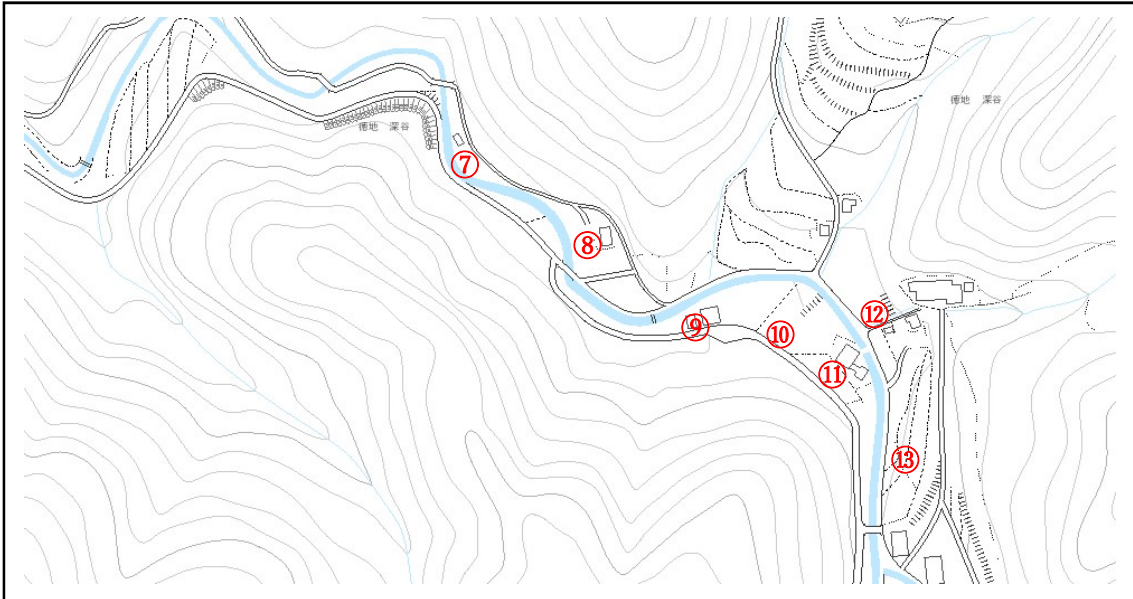
④ いなか屋敷⇒駐車場



⑤ 杉入りの道⇒再整備



⑥ 東屋1⇒水場再生し、活用



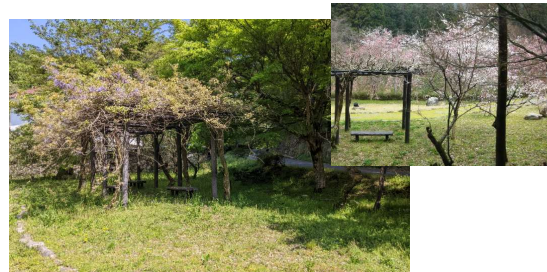
⑦ とくまる水車⇒再生活用



⑧ 東屋2 ⇒修繕活用



⑨ 厠・多目的家屋
⇒解体・植栽



⑩ 藤棚⇒再生活用



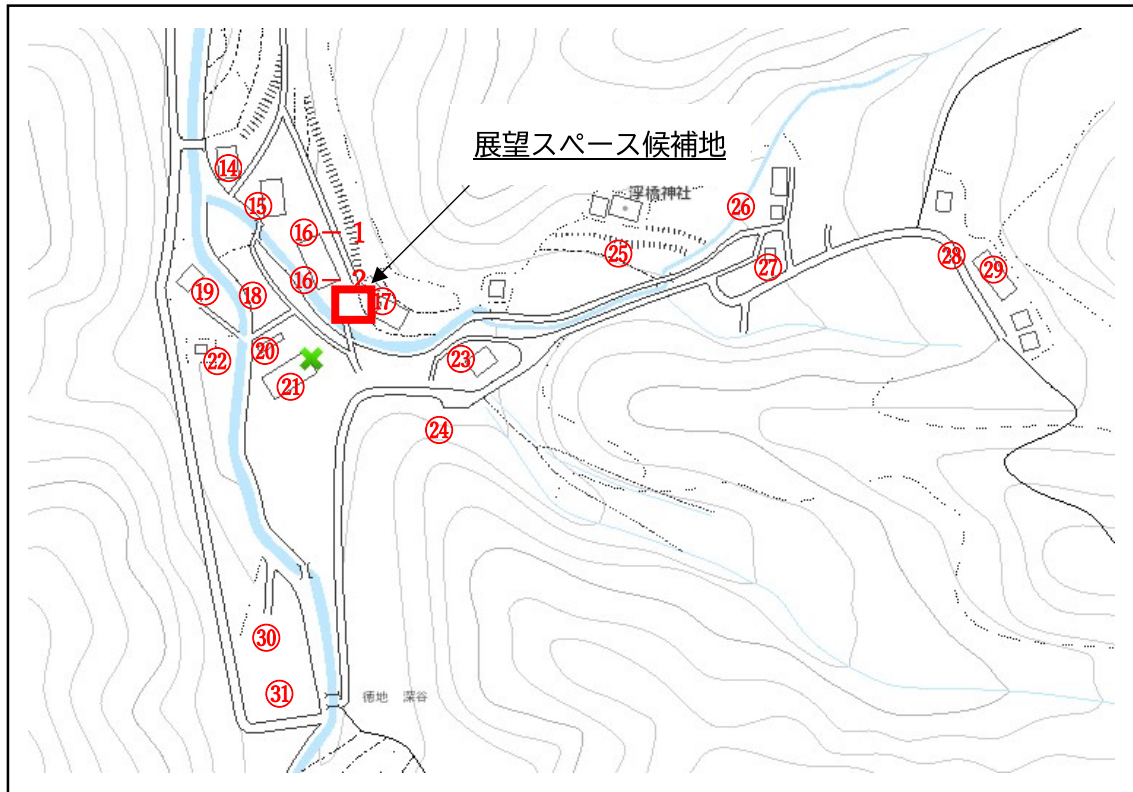
⑪ 文化伝承館
⇒展示リニューアル（文化財保護課）



⑫ 重源茶屋
⇒解体・植栽



⑬ 水生植物池⇒再生・魅力強化



⑭ とくぢ浪漫⇒茅葺維持・改修活用



⑮ ふれあい工房⇒茅葺維持・改修活用（匠に変更）



⑯-1 白波⇒茅葺維持・改修活用



⑯-2 白波横作業場⇒改修



⑰ 匠⇒解体



⑱ イベント夢広場⇒活用

※展望台、親水広場設置



⑱ イベントステージ⇒解体



⑳ 庄屋⇒改修活用



㉑ 花ひとえ⇒改修活用



㉒ ギャラリースペース⇒改修活用



㉓ 事務室⇒改修活用



㉔ 釣り堀⇒食体験活用 (軽食提供施設改修)



㉕ 雅⇒解体



㉖ 石風呂⇒解体



㉗ 浮橋神社裏の椿の木の整備



㉘ トイレ⇒解体



㉙ 東屋3⇒解体



㉚ 東屋4⇒解体



㉛ ちびっこ山村広場 ⇒ 解体



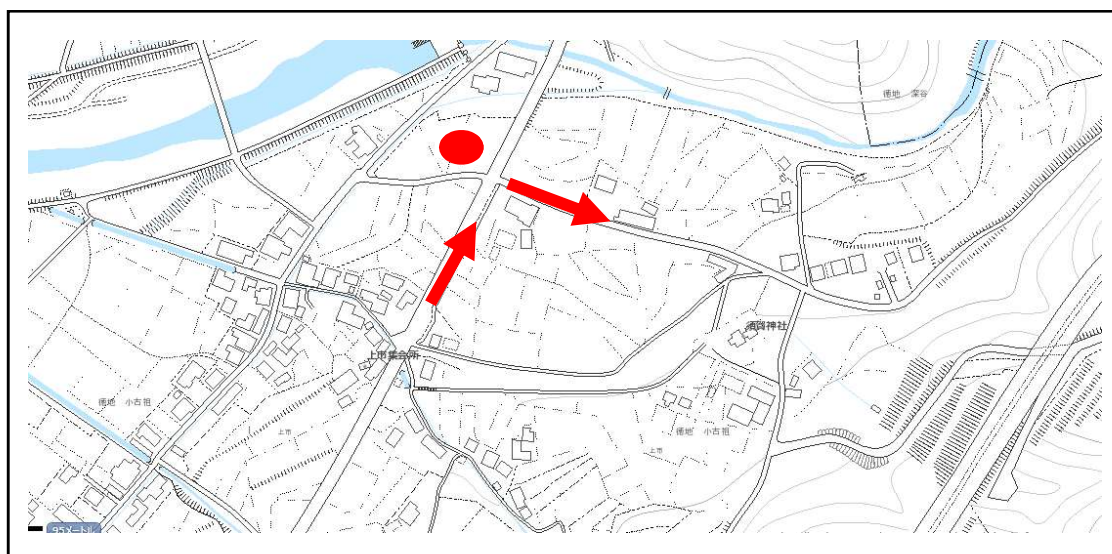


③⑩ 職員駐車場⇒修繕活用

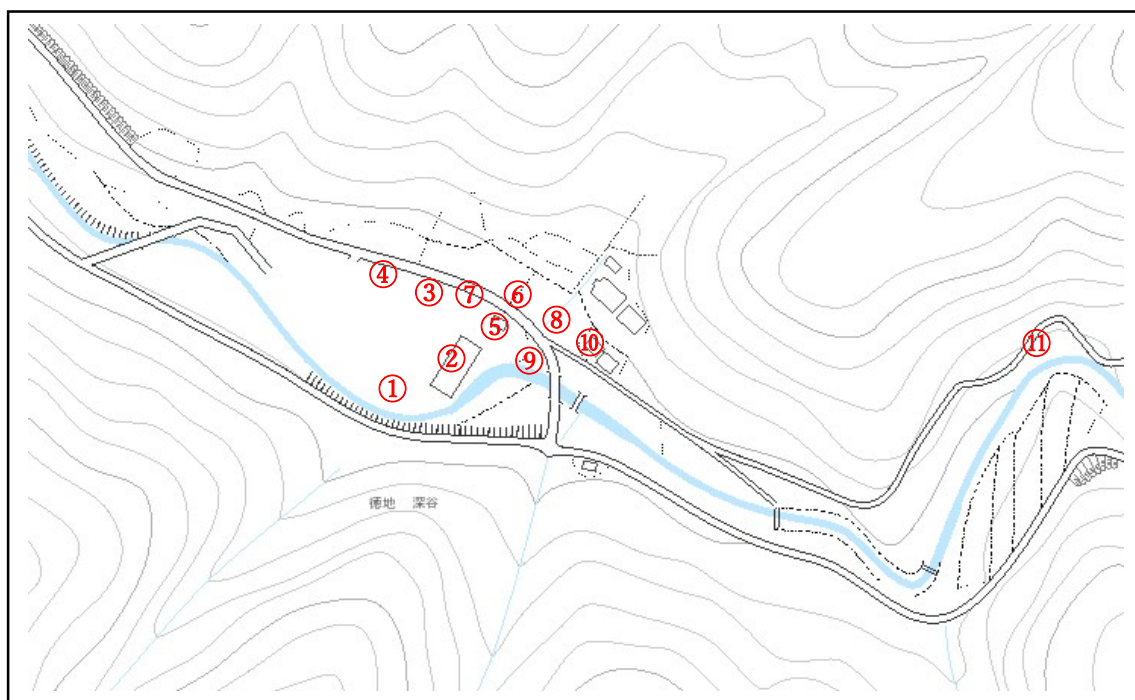


③⑪ 職員駐車場内倉庫⇒活用

(3) 施設サイン整備内容



国道489号線沿い重源の郷大看板 ⇒ 撤去（道路標識での案内に変更）



① 施設看板⇒内容修正活用



② 歓迎館看板⇒修繕活用



③ 重源列車⇒撤去



④ 施設看板⇒撤去



⑤ 有料施設看板⇒維持



⑥ 水車⇒修理再生活用



⑦ サイン（県設置）⇒維持



⑧ 有料施設看板⇒修繕活用



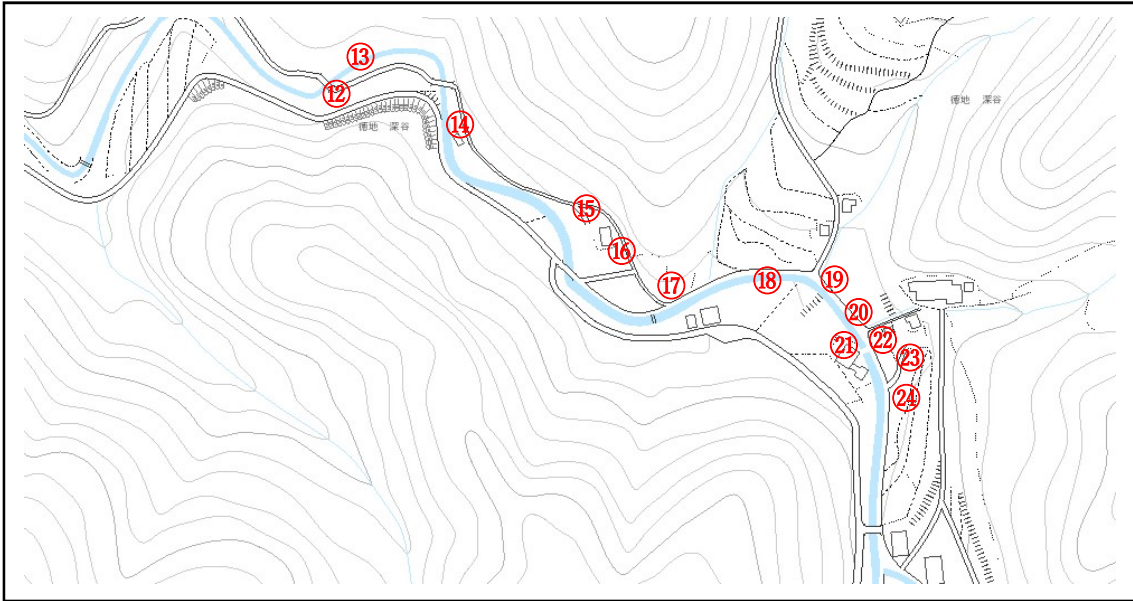
⑨ 遊歩道⇒修繕活用



⑩ 現在地サイン⇒内容修正活用



⑪ 現在地サイン⇒内容修正活用



⑫現在地サイン⇒内容修正活用 ⑬現在地サイン⇒内容修正活用 ⑭とくまる水車看板
⇒内容修正活用



⑮現在地サイン⇒内容修正活用 ⑯ 遊歩道⇒修繕活用 ⑰現在地サイン
⇒内容修正活用



⑱木製看板⇒撤去 ⑲現在地サイン⇒内容修正活用 ⑳炭焼小屋看板⇒撤去



②① 文化伝承館看板
⇒内容修正活用



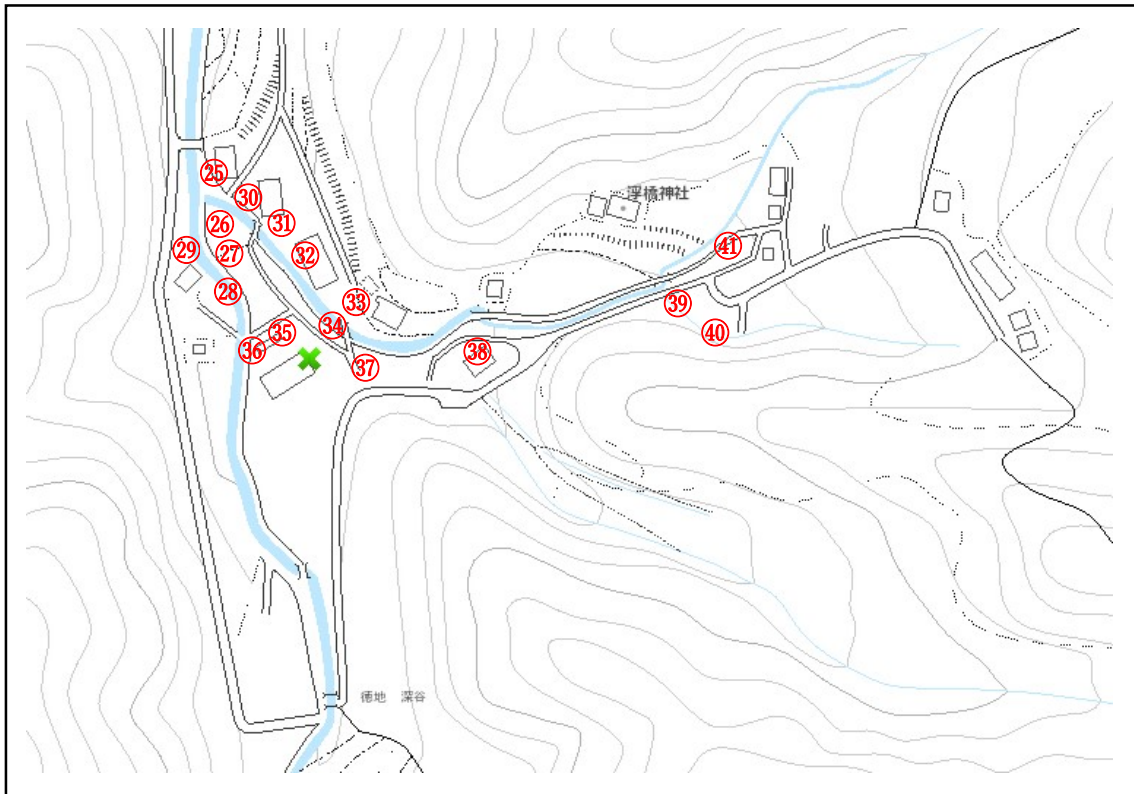
②② 重源茶屋看板⇒撤去



②③ 重源茶屋看板⇒撤去



②④ サイン・遊歩道・茶屋
⇒サイン：内容修正活用
遊歩道：修繕活用
茶屋：撤去



②5とくち浪漫看板
⇒内容修正活用



②6案内看板⇒修繕活用



②7清流釣り⇒修繕活用



②8夢広場サイン⇒撤去



②9水車⇒修繕活用



③0ふれあい工房看板⇒撤去



③1藍染・機織り看板⇒撤去



③2白波看板⇒内容修正活用



③3匠看板⇒内容修正・移設



③④ 水てっぽう看板⇒撤去



③⑤案内看板⇒内容修正活用



③⑥庄屋・ギャラリー・花ひとえ
⇒修繕活用



③⑦ちびっこ山村広場看板⇒撤去



③⑧雅看板⇒撤去



③⑨現在地サイン⇒撤去



④⑩山村広場サイン⇒撤去



④⑪トイレ看板⇒撤去

4. 重源の郷体験交流公園リニューアル整備スケジュール

重源の郷体験交流公園の令和6年度中のリニューアルオープンを目指し、次のスケジュールにて整備を進める。

	令和5年度																																			
	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
解体工事																																				
施設改修工事																																				
機械設備工事																																				
電気設備工事																																				
水生植物池設計																																				
親水広場設計																																				
遊歩道・植栽整備																																				
駐車場拡張工事																																				
インターネット回線サービス調達委託																																				
Wi-Fiアクセスポイント機器設置委託																																				

	令和6年度																																			
	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
解体工事																																				
施設改修工事																																				
機械設備工事																																				
電気設備工事																																				
展望台工事																																				
水生植物池工事																																				
親水広場工事																																				
サイン設置工事																																				